

# MARCO POLO オプション測定項目②

## 「センシティブ・パワー®」



「ストレス耐性は高い方が良い！」という先入観は、数多くの研究によって表面的過ぎる見方であることが分かっています。

**ストレス耐性が低くても、  
とても前向きに敏感さを発揮して、  
お客様から高く評価されている人がいます。**

最新のHSP (Highly Sensitive Person) 研究では、人間の敏感さには ・「**ポジティブ敏感**」 の2つがあり、  
・「**ネガティブ敏感**」  
これらは分けて見ないと、**“人の輝き方を見誤る危険”**があると発表されています。

**2つの敏感さから『センシティブ・パワー』を確認し、一人ひとりを輝かせることにお役立てください！**

### ポジティブ敏感 (機微系 : Sポジ)

高い人	<ul style="list-style-type: none"><li>お客様の些細な一言を敏感に感じ、これは自分が解決すべきことだと考えて前向きに取り組もうとする。(自分ごととして敏感に対応していくのでお客様の評判がとても高い)</li><li>「機微」を感じられる。</li><li>ミスをして叱られている時など、落ち込むべき時にはちゃんと落ち込める。</li></ul>
低い人	<ul style="list-style-type: none"><li>お客様の些細な一言を“大したことない”と感じてしまいがちで、結果、お客様を怒らせてしまうことがある。</li></ul>

### ネガティブ敏感 (バーンアウト系 : Sネガ)

高い人	<ul style="list-style-type: none"><li>様々な刺激によって頭が一杯になりがちで神経が高ぶりやすく、少量の仕事でも心理的負担を感じてバーンアウト(燃え尽き症候群)しやすい。</li><li>現状からの変化を嫌いやすい。</li></ul>
中くらいの人	<ul style="list-style-type: none"><li>様々な刺激を適度に吸収し、神経が過度に高ぶりすぎず、安定的な心の状態で仕事に取り組める。</li></ul>
低い人	<ul style="list-style-type: none"><li>外界からの刺激を、“自分の負荷として感じる感性”が乏しいため、例えば仕事を安請け合いしてしまい、結果、出来なかつたりする。</li><li>人としての「感受性」が乏しい傾向があるため、“のん気な”人に見られることもある。</li></ul>

### 【測定結果の表記】

Sポジ	Sネガ	センシティブ区分
50/高	20/中	2

センシティブ・パワーは、その強弱を数値化した上で、以下のフラグを示します。  
・ポジティブ敏感 (Sポジ) : 45以上「高」、30以上45未満「中」、30未満「低」  
・ネガティブ敏感 (Sネガ) : 45以上「高」、11以上45未満「中」、11未満「低」  
・センシティブ区分 : 裏面参照

※導入企業様の場合、面接シート(簡易版)、HR Profiling、CSVデータなどに反映されます。

センシティブ・パワーの定義および測定アルゴリズムは、様々なHSP研究を背景にした上で、レイル社が再定義・設計したものです。



# 【センシティブ区分表】

センシティブ区分は、「ポジティブ敏感」と「ネガティブ敏感」の組み合わせを9つの区分で表しています。

ポジティブ敏感 (Sポジ)	ネガティブ敏感 (Sネガ)	センシティブ区分	人財のイメージ	一言で言うと
高	高	1	ポジティブ敏感の高さ（機微を敏感に感じ、「あうん」も読める）はあるのですが、ネガティブ敏感も高いため、一杯いっぱいになりがちで、バーンアウトした場合にはポジティブ敏感が上手く出せない時もありそうです。そのため、大人数の中で人に気遣いながら働く職務よりも、自分のペースで働ける職務の方がバーンアウトせず自分らしい敏感さを発揮できるかもしれません。	自分のペースで働ける職務において最強な人
	中	2	ネガティブ敏感が適度であるため、ポジティブ敏感の高さを、バランス良いパワーとして発揮できそう。	大勢の組織で働く職務において最強な人
	低	3	ネガティブ敏感の低さが、「のん気な行動」の方向に引きずるため、ポジティブ敏感の高さからなる良さが出にくい。結果として、詰めが甘くなるなど「人当たりはいいんだけど、適当なところがある人」と見られがち。	凄く射しているが、適当な一面がある人
中	高	4	ポジティブ敏感（機微を敏感に感じ、「あうん」も読めるなど）が中程度だが、ネガティブ敏感が高なので、→	気が利くが、キャパオーバーになりやすい人
	中	5	ネガティブ敏感が中なので、→	気が利くいい人
	低	6	ネガティブ敏感が低なので、→	気が利くが、マイペースな人
低	高	7	機微は感じられず、「頭が一杯いっぱい」になりやすい人。	的を外す事が多く、冷静さを失いやすい人
	中	8	機微が感じられず、ネガティブ敏感が適度であるため、「普通に気の利かない人」。	気の利かない人
	低	9	ポジ、ネガ両方が低いので、そもそも刺激を刺激として感じられない、とてものん気な人かもしれません。	マイワールドが強くマイペースな人

## 何が分かるの？ どのように活用するの？

### 【分かること】

「ストレス耐性が高いか低い」という浅い視点ではなく、表面に掲載されているセンシティブ・パワー®の2要素（ポジティブ敏感、ネガティブ敏感）それぞれの強弱を数値化して、センシティブさをより深く測定することができます。

2つの要素の組み合わせを「センシティブ区分」で見ることにより、センシティブ・パワーが行動として発揮されるイメージを掴むことができます。

### 【どのように活用するのか】

人のセンシティブさについての深い見方を経営に活かすことを考えてみてください。

社員個々の、センシティブ・パワー®の行動傾向やセンシティブ区分による人財イメージを把握することは、適正配置や選抜の精度を高めるための、とても有益な情報になります。

欧米の先進企業では、人の選抜をする際、自社組織における活躍可能性を予測するだけでなく、必要な敏感さを兼ね備えているのかも併せて予測し、選抜の精度を高めています。

## 受検・測定方法

### 【受検方法】

#### ● MARCO POLO導入企業様

オプション測定項目「センシティブ・パワー」を1度ご購入いただくと、測定アルゴリズムがMARCO POLOシステムに追加され、特性アセスメント受検時に、センシティブ・パワーの追加測定がなされます。（過去の受検者を含め、無料で測定されるようになります。）

#### ● MARCO POLOを導入されていない企業様

スポット受検料金をご用意しています。（詳しくはお問い合わせください）

### 【測定方法】

- MARCO POLO特性アセスメントを受検するだけで、センシティブ・パワーを測定できます。
- 特性アセスメント以外の新たな検査を受検する必要はありません。